遊歩道

横山に張り巡らされている遊歩道は、横山ビジターセンターから尾根のてっぺんにある見晴展望台まで続いており、また、創造の森エリアに続く道にもつながっています。遊歩道はいくつもの展望デッキや他の見どころを通して山腹の森に茂るウバメガシなどの常緑樹の間を縫うようにして延びています。

横山天空カフェテラスは、海拔 140 メートルから英虞湾とその向こうに広がる太平洋を一望できる木のデッキです。デッキのそばの休憩施設では、地元の食材を使ったお菓子や軽食を販売しており、その屋上の展望エリアからはさらに高い位置からの眺めが楽しめます。

さらに遊歩道を登ったところには、より静けさに包まれた**木もれ日テラス**があります。木もれ日とは葉の間から差し込む光という意味で、このテラスは夏は木陰のおかげで涼しく、冬は陽の光があたってあたたかです。その上には、風通しの良い**そよ風テラス**と、**なごらの浮石**と呼ばれる約百年前に海から取ってきて横山に運ばれたといわれる一揃いの神聖な石があります。

それよりもさらに高いところには、英虞湾で真珠養殖を発明した御木本幸吉を称える**御木本翁記念碑**が建てられており、その先には**見晴展望台**があります。海拔 180 メートルに位置するこの展望台は、ビジターセンターエリアの中で最も高い場所にある展望台です。

横山展望台の遊歩道は、歩いて 35 分ほどのところにある**浅間山展望台**にもつながっています。